

サンゴの日 イベント報告

”サンゴの日”の3月5日に「未来とサンゴプロジェクト」に協賛する企業とソフトバンク社員と多くの地元ボランティアの方とともに、イベントを実施しました。



恩納村のサンゴと海について考える環境学習

環境学習では、一般社団法人サンゴ保全協会の山城正巳会長より沖縄県恩納村のサンゴ礁の現状や保全活動の取り組みについて講演いただきました。他にも名桜大学、沖縄工業高等専門学校、「美ら海から学ぶ未来のリーダー養成塾」の受講生が、サンゴや海を守るために取り組んでいる活動を発表いただきました。

環境学習の様子



地元ボランティアの方と恩納村の海をビーチクリーン

恩納村で開催された「Save The Coralプロジェクト」では、地元ボランティアや沖縄在住のソフトバンク社員も含めた約280人が参加。恩納村の海沿いを清掃し約1.5トン分のゴミを回収しました。

ビーチクリーンの様子



イベントを終えて参加者からは「環境破壊が進んでいる実態を、現地の方々の声を通して聞いたことや学生を含めた現地の方々の環境保全に対応する姿勢と気持ちに感銘を受けた」「環境問題を実際に現地で体験できる素晴らしい機会だった」等のコメントをいただき、環境問題について改めて考える会となりました。

2019年に立ち上がった「未来とサンゴプロジェクト」は今年で6年目を迎えます。これからも、海洋環境の保全のために、多数の企業・団体と美しい地球の未来を守り、次世代に受け継いでいくための活動を続けてまいります。